

前半は研究発表、後半は出前授業の準備を行いました。

「国史大辞典（初版）・予約者芳名録」に見る横浜の名士

発表者：佐滝剛弘

「国史大辞典」初版の挿絵の巻にはカラー図版が豊富に載っています

「国史大辞典」は、明治41年に初版が発行され、今も版を重ねる我が国で最も古い歴史辞典です。この本を予約購入した人のリストである「予約者芳名録」には、8千を超える個人・団体の名前が記載されており、これを手掛かりに、当時どんな人がこの辞典を買っていたのかを、横浜市の部分を中心に解説・議論しました。

原三溪や生糸貿易にかかわる人物としては、生糸の技師だった高橋信貞や、富岡製糸場の場長を務めた速水堅曹の長男速水真曹などの名前があったほか、「原三溪翁伝」の著者である、藤本實也の名も「徳田實也」として記載されているという指摘がこの場であり、三溪にかかわる人の名がまた一人明らかになりました。三溪自身の名は芳名録にはありませんが、彼が設立の中心となった横浜商業会議所の名もあり、三溪もこの辞典を手にとった可能性があります。少し違った角度から、三溪が活躍した時代に思いをはせることができました。（佐滝）



第一回 出前授業検討会



A班



B班



C班

3つの班に分かれて、出前授業で伝えたい事項についてアイデアを出し合いました。

どの班も話したいことならたくさんありそうです。